

## 矢部メッツと交流試合

広川少年野球クラブ



広川少年野球クラブは10月7日(日)、久留米市球場で矢部メッツとナイター交流試合を行いました。子どもも大人も全員で楽しみました。

部員募集中！  
広川球場相撲場側へ体験にお越しください。

園監督馬場智嗣  
☎080039959・5575

## 広川町少年野球大会 3位

下広スターボーイズ



10月20日・21日・27日に行われた「第17回広川町少年野球大会」で、下広スターボーイズが3位に入賞しました！準々決勝は、1点差で迎えた最終回で逆転サヨナラ勝ち。惜しくも準決勝で負けてしまいました。が、見事銅メダルを獲得しました。

部員募集中！  
体験も受け付けています（練習は水(金)土(日)祝、週末は大会などの場合あり）。

園代表生田友見  
☎0906292・1615

## ねんりんピック富山に出場

松田幸治さん & 諸富茂隆さん



11月に富山県で開催された「第31回全国健康福祉祭とやま大会（ねんりんピック富山2018）」剣道交流大会」に、松田幸治さんと諸富茂隆さんが出場しました。結果は予選リーグ3位となり、惜しくも次に進むことはできませんでしたが、「次回リベンジを果たせるよう頑張ります」と気持ち切り替えています。なお、2人には「広川町スポーツ振興チャリティー基金」が贈られました。

## 全国大会陸上競技 3位

原嶋陽平さん



10月に福井県で開催された第18回全国障害者スポーツ大会「福井しあわせ元気大会」で、原嶋陽平さんが50メートル走で3位に入賞しました。原嶋さんは「公式練習で少し足を痛めていたこともあり、スタートは緊張しました。ゴールした瞬間は負けたかとも思いましたが、3位でうれしかったです」と大会を振り返りました。最後には、「次回は優勝したい」と自信に満ちた表情を見せられました。

## 減塩食の体験も

広川まつりで健康チェック



10月21日(日)に開催された第37回広川まつりで、骨密度や血管年齢、体組成などが測定できる健康チェックが行われました。無料測定ブースには約300人が訪れ、会場は大盛況。食進会による減塩食体験ブースでは、来場者に減塩しようゆを使った炊き込みご飯が配布され、「減塩しようゆでもおいしい！」といった声が聞かれました。皆さんもぜひお試しください。

## 国体弓道競技 1位

中村崇稷さん



9月末〜10月初め、福井県で開催された平成30年度第73回国民体育大会弓道競技で、中村崇稷さん（福島高3年）が少年男子近的・遠的ともに1位に入賞しました。競技中は多くの観客に囲まれる中、的だけが見える状態だったという中村さん。「大学でも弓道を続けたい」と更なる活躍を宣言してくれました。なお、中村さんには「広川町青少年人材育成補助金」が贈られました。



まちのわだい

## インフルエンザを予防!

八女茶振興会からうがい用茶葉



11月2日(金) 八女茶振興会から町内の小中学校へ、インフルエンザ対策としてうがい用茶葉が提供されました。茶葉に含まれるカテキン類には抗菌作用があるとされています。皆さんもお茶でインフルエンザを予防しましょう!

## 広川町は「八女茶」の産地

JA茶業部会が広川のお茶をPR



11月8日(木)、JA茶業部会広川支部から町内の小学4年生に、広川町産の「八女茶」が提供されました。これは、子どもたちに急須で入れた「八女茶」を飲んでほしい、日本茶の文化を知ってもらおうという取り組みで、毎年行われています。近年は急須がない家庭もあるとのこと。全国でも評価の高い「八女茶」をぜひ家庭でもお楽しみください。

## よりよい町づくりに貢献

秋の叙勲・褒章を受章



11月3日(土)、平成30年秋の叙勲・褒章受章者が発表されました。

● 中村省一郎さん  
瑞宝双光章(地方自治功労)受賞。昭和33年〜昭和63年に広川町職員、昭和63年〜平成12年に広川町収入役を歴任。  
● 大隈康子さん  
藍綬褒章(更生保護功績)受賞。平成8年から保護司として活動(現八女保護区保護司会副会長)。

## 町の振興発展に貢献

元区長2人が表彰



11月1日(木) 町民交流センター「いこつと」で「第45回広川町表彰式」が行われ、町の振興発展に貢献した次の2人が受賞されました。  
● 故中村治和さん(代理)・中村由利子さん、前列右4番目)  
● 中村精二さん(前列左4番目)

## 税業務が簡単・便利に

税の電子化で感謝状



広川町では、所得税確定申告書などの資料を電子データ化し、国税庁に引き継いでいます。この取り組みに対し11月5日(月)、八女税務署長から町へ感謝状をいただきました。税の電子化は、国と地方の税業務効率化を図るもの。これにより、所得税の還付申告から還付までの期間が短縮され、確定申告書への署名・押印が不要になります。

## 寄付金で図書館の本を購入

日東塗装(株)、江口自動車工業(株)



日東塗装株式会社、江口自動車工業株式会社から頂いた寄付金で、広川町立図書館の書籍を購入しました。購入した書籍は、新刊として特設コーナーに並んでいます。今後とも随時入荷する予定となっていますので、皆さんもぜひご覧ください。



## 分団ごとに操法競う

消防団ポンプ操法大会



消防団員が消火活動の正確さや素早さを競う「第18回広川町消防団ポンプ操法大会」が11月4日(日)、広川

【優勝】第一分団  
中学校で行われました。八女消防署広川分署の指導の下、10月上旬から訓練に励んできた町内6つの分団。大会当日は晴天に恵まれ、どの分団も訓練の成果を存分に発揮しました。

## 互いの健闘をたたえ合う

第9回囲碁ボール大会



北新代老人クラブチーム

11月4日(日)、中広川小学校体育館で第9回囲碁ボール大会が開催されました。今回のエントリー数は22チーム107人で、子どもたちも多く参加。白熱した試合展開に会場は熱気に包まれ、試合後は互いの健闘をたたえ合う参加者の姿が見られました。

【優勝】北新代老人クラブチーム  
【準優勝】太田Aチーム  
【第3位】長徳区少年団チーム

## 吟詠や舞踊など披露

第23回ひろかわ芸能大会



11月3日の文化の日、中広川小学校体育館で「第23回ひろかわ芸能大会」が行われました。「広川町文化祭」の一つとして行われているもので、当日は約15の団体が日ごろの成果を発表。吟詠や舞踊、三味線、大正琴、民謡、フラダンスなど多様な芸が次々と披露されました。

## 花の種に願いを込めて

「人権の花」種飛ばし



中広川小学校の3年生113人が10月30日(火)、ヒマワリの種を風船につけて飛ばしました。花を育てることと命の大切さを学び、思いやりの心を育てる「人権の花運動」の一環で行われたもの。児童は5月の植ええから水やりをしておこなってききました(5月の様子は本紙6月号)。

## スポーツ吹矢の楽しさ体験

総合クラブひろかわ



はなやぎの里で10月12日(金)、社会福祉協議会主催の「シルバーフレッシュ教室」が行われました。参加者約30人は総合クラブひろかわからスポーツ吹矢の基本動作を学んだ後、グループに分かれて対戦。一人5本ずつ2回吹き、中には50点以上を記録する人もいました(満点70点)。

参加した皆さんは得点にかかわらず楽しそうな様子で、終了後「おもしろかった」という感想が多く寄せられました。

## 秋の味覚を堪能

スローフードフェスタ 2018



10月27日(土)と28日(日)、広川くだの村でスローフードフェスタ「秋の収穫祭」が行われました。来場者はぶどう温室内のおしゃれな空間で、飲食屋台や雑貨などのマルシェ、ブドウや新米などの秋の味覚、ダンスなどのステージイベントを楽しみました。27日の夜は、スペシャルライブ! 飲食を楽しみながら、「小島よしき」の演歌ショーや「TAKA」の弾き語りライブで盛り上がりました。



# 秋の彩りに包まれて

## 太原イチョウ巡り 2018

数年前に新聞・テレビなどで取り上げられ、一躍人気の観光スポットとなった「太原のイチョウ」。イチョウ並木と黄金の絨毯を楽しめる場所として、近年町外・県外から多くの人が訪れています。

今年はこのイチョウをより一層楽しめる「太原イチョウ巡り2018」が、11月に行われました。訪れた人々は家族や友人と一緒に記念撮影をしたり、きれいな落ち葉を探したり、ゆっくり眺めたりと、各々で秋の彩りを満喫していました。

11月17日(土)〜12月24日(月)には、広川町観光協会による「ぐるっとスタンプラリー」も開催。イチョウとひろかわ藍彩市場、スタンプラリー加盟店の3カ所を巡るもので、「次はどこに行こうか」と楽しそうに話す観光客の姿が多く見られました。

また、17日(土)・18日(日)は久留米餅の着付け体験、23日(金)・24日(土)は「ひろかわ藍彩市場秋の大感謝祭」も行われました。



# 自分だけの「亥」完成

博多人形絵付け体験



11月8日(木) 町民交流センター「いこつ」で博多人形絵付け体験講座が行われました。来年の干支の形をした素焼きへ絵付けするもので、今回で3回目の開催。参加者は博多人形師の松尾さんから教わりながら、自分だけの「亥」を完成させました。

# 親子で往復 24km 完歩!

親子ふれあいナイトハイキング



11月2日(金)〜3日(土)、「第31回親子ふれあいナイトハイキング」が開催されました。参加人数は48家族87人。親子で励まし合いながら、広川町役場から高良大社までの往復24キロメートルを完歩しました。

参加者からは「普段できない話ができ」「子どもの成長を感じた」などの声が聞かれ、親子の絆や達成感を感じることができたようです。